

整理番号	24009
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年12月16日
事業担当課	スポーツ振興課

《基本情報》

事務事業名	プロスポーツ応援事業費(市民応援DAYの拡大)		<input type="checkbox"/> 新規
			<input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	G3 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	対象	意 図	
	市民が	いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。	
個別施策	G3-1 スポーツ・レクリエーションを普及促進します		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	対象	意 図	
	市民が	日頃から自分に適したスポーツやレクリエーションに親しんでいる。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 市民応援DAYの開催や情報発信により、プロスポーツに対する認知度や関心度を高め、併せて子どもたちのスポーツへの参加を促す取組みを実施しているが、R3の調査で「この1年間でスポーツ観戦に行った」と答えた人の割合は、前回調査(H26)と比べると半数以下に減少している。 令和6年度にスタジアムシティが完成する。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	市民がプロスポーツ観戦を通じ、スポーツに関心を持っている
課題(どういことをする必要があるのでか)	令和6年度の「スタジアムシティ」の完成を見据え、市民一体となった応援機運をさらに高めるとともに、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくり及び地域の活性化につなげる必要がある
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

＜事業の概要＞

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)</p>	<p>プロスポーツ応援事業費の拡大 R3 9,000千円 ⇒ R4 15,000千円 【拡大分】 1 スタジアムシティの開業を見据えたV・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカの応援機運醸成の取組み(9,000千円⇒12,500千円) (1)プロスポーツ市民応援DAY業務委託 小中学生親子ペアのホームゲーム招待 ア V・ファーレン長崎 1,600組 8,700千円(400組の増) イ 長崎ヴェルカ 300組 1,800千円(100組の増) (2)プロスポーツ PR・情報発信事業 応援タペストリー、のぼり等作製、設置 2,000千円 2 プロ野球公式戦開催による応援事業 福岡ソフトバンクホークス対千葉ロッテマリーンズの公式戦にて「市民応援DAY」を開催する。 (1)市民応援DAY業務委託 2,500千円 ア 小中学生親子ペアのホームゲーム招待 400組 2,000千円 イ 選手、マスコットキャラクターとの写真撮影会や抽選会の開催 500千円 【補助率】国1/2、市1/2</p>					
<p>業務量の増減</p>	<p>現在322時間+10時間</p>					
<p>市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働 プロスポーツの応援機運を高めることで、地域の活性化につなげる。</p>					
<p>事業期間</p>	<p><input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)</p>					
<p>予算額</p>	<p>金額(千円)</p>	<p>国</p>	<p>県</p>	<p>地方債</p>	<p>その他</p>	<p>一般財源</p>
	<p>当年度</p>	<p>15,000</p>	<p>7,500</p>			<p>7,500</p>
	<p>総額</p>					
	<p>財源名称</p>	<p>地方創生推進交付金</p>				
<p>成果(活動)指標</p>	<p>指標(単位)</p>	<p>招待試合への応募件数</p>				
	<p>年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>	<p>令和6年度</p>	<p>令和7年度</p>	<p>令和8年度</p>
	<p>目標値</p>	<p>2,972</p>	<p>3,132</p>	<p>3,292</p>	<p>3,455</p>	<p>3,611</p>
	<p>成果指標及び目標値の説明</p>	<p>V・ファーレン長崎と長崎ヴェルカの関心度を図るため、招待試合への応募件数を数値目標とする。</p>				

評価結果

(1) 今後の事業の方向性と理由

<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分

(2) 評価会議における指摘事項

スタジアムシティの開業を見据え、年次的にV・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカの認知度と応援機運を高めていくため、市民応援DAYの情報発信の取組みを強化・拡大するとともに、プロ野球公式戦が開催されることを契機に、新たに市民応援DAYを設定するものである。

レベルの高いプロスポーツの公式戦を観戦してもらうことで、「みるスポーツ」・「支えるスポーツ」を通じて市民のスポーツへの関心を高め、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりなどにつながるものであることから、事業の実施は適当である。

ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。

【事業実施に対する意見】

・サッカー・バスケット以外のスポーツも含め、「みるスポーツ」の振興については、どのようなスポーツを対象とするかなど、今後の展開について整理すること。